



進路だより

～7・6・5年後の君達を応援します～

第6号

2010年6月23日(水)

茨城県立並木高等学校

進路指導部

＝第2回定期テスト(6月29日～7月2日)をひかえて＝

今できること : 定期テスト前のセルフチェック (下表参考)

あなたは机に向かうときにはどんな気持ちですか？

“I have to study” or “I must study” ?

皆さんには自分から勉強する“MUST”の状態になることを期待します。勉強するのはあたりまえですが、それが周囲から「やれ!」と言われたり、「受験生だから一般的に見て勉強したほうがいいのではないか」と思ったり。そうした外発的な要因ではなく、自分から「勉強したい」と思える“MUST”の状態が、効果と効率を高めるには必要だと思います。そして自分が今勉強に集中できる環境にあることは覚えておきましょう。

毎月のようにテストがありますね。進学校ならばこれは“あたりまえ”です。定期的に学習内容を復習してまとめ直すことは必要です。そうしないと忘れるだけではなく、体系立てて考えられませんね。普段の授業の質を維持したり上げるためにも、それまでの学習事項の定着を確認するためのテストは必要なのです。

皆さんは次の段階につなげていくための知識の整理整頓という気持ちで残り1週間をすごしてみましょう。良い点数を取ることにしか目がいかない人もいるでしょうが、本来の目的は脳の中に学習のネットワークをつくり短期記憶をいかにして長期記憶に移行させるかの訓練なのです。単なる記憶力の問題はさておき、教材に取り組んでいるときには、思考力や理解力を問う問題がありますね。そこでできなかったところは予習や授業で自分なりの“問題意識”をもてなかった部分が多いはず。 “問題意識”とは、多くのことに純粋な興味を持ち、今何が必要なのかを常に考えていることです。これがなければ、新たな発見もなければ、知識の結びつきも起こりにくいし、せっかく集めた知識を生かすこともできないでしょう。

皆さん一人ひとりの興味に気づくチャンスが定期テストかもしれませんね。

セルフチェック (+α 毎週の“学習記録表”でこれまでの学習時間を実感せよ)

今回も次のようなチェックポイントを参考にしてみましょう。あなたはいくつあてはまりますか。

- ① 身の回りが片付いている。
- ② 制服をきちんと着用できている。
- ③ チャイムと同時に授業を始める準備ができている。
- ④ 決まった時間に家庭で学習を始める習慣がついている。
- ⑤ 『予習→授業→復習』のサイクルが確立できている。
- ⑥ 到達度テストに全力で取り組むことができている。
- ⑦ 今日、放課後 (SC), そして家で何を勉強するか決まっている。
- ⑧ 各教科の提出物や課題は全て時間がかかってもこなせている。
- ⑨ 分からないことを友達や先生に質問できている。
- ⑩ 校内に悩み事を相談できる先生方がいる。

※分からないところは放っておかないことが大事だ。



成績上位者の傾向

予習→授業→復習の習慣ができています。



学校を休まないし、遅刻しない。
服装指導で注意を受けない。
教科書と学校の問題集をやりこなす。
できないところは、何度も繰り返す。
あきらめずに、やりきる

英語ができないと文系・理系
どちらの大学にも入れない。
数学は、学習習慣で成功と失
敗の差が大きく開く。
高校生活を積極的に送る。
人の話を素直に聞く。

3年生へ (1・2年生は3年生の様子を見ていてください)

6月まで【我慢して最低限の学習時間を確保する】

⇒ 7月から【学校の勉強を大切に、放課後は自分ひとりで勉強する】

ほとんどの3年生は部活動を引退しています。部活動に加入していた3年生にとって自信を持ってほしいのは、「3年間やりきった」という何にも替えがたい気持ちです。この気持ちを胸に自分の進路が実現するまで走り続けてください。急に勉強してもすぐに結果は出てきません。1月のセンター試験、2月の一般入試、その直前までに伸ばせばいいのです。あきらめずに。

最後まで部活動を頑張る、引退後に成績を急速に伸ばして志望大学に合格していった人たちもたくさんいます。むしろ、伸び幅という点においては、部活動を頑張った人のほうが、最後には成績を大きく伸ばしていったと言ってもいいかも知れません。けれどもそういう人たちの多くは、部活動で疲れ、時間が削られている間も、なんとかして学習時間を確保しようと努力していた人たちです。思うように学習時間が取れないことに悩みながら、1時間あるいは30分、15分という小間切れの時間を大切にしていたからこそ、自由になる時間が増えた時、すぐにそれを学習時間へと切り替え、しかも中身の濃い学習を積み重ねることができたのです。「もっと勉強したいのに、これだけしか時間がない」という思いが、部活動引退後に爆発的なエネルギーを生むのですそうでしょ？

部活動をしていなかった人はどうか？もう過去を振り返っても仕方ありません。勉強するだけです。“I must study.”の気持ちで。

定期テストの次にあるもの

⇒ **模擬試験 (7月10日)**

⇒ **オープンキャンパス(8月上旬)**

⇒ **大学合格判定(8月中旬)**

7月10日に模擬試験があります。1年生ははじめての全国模擬試験となります。2年生は志望大学を4つ書く欄があり、3年生は今年度2度目の記述模試となります。特に2年生は夏期休業中に、大学見学へ行く予定の大学名を書くことを勧めます。8月盆明けにデータが帰ってくるため、自分の実力と大学への“距離感”がつかめることになるのです。

次号では「オープンキャンパス」に参加するときのポイントを紹介しします。今回は、河合塾OB+OGに志望大学の決定方法についてです。志望大学を探すときの参考にしてください。(2008 ロングストイヤー (塾生対象アンケート) より)

【Q】志望大学の決定で最も重視したこと?

大学知名度	*****	(21.6%)
入試難易度	*****	(21.1%)
設置学部・学科	*****	(17.1%)
地元にある	****	(5.3%)
歴史・伝統	****	(4.5%)
取得資格・免許	***	(4.1%)
就職実績	***	(3.7%)
カリキュラム	**	(3.4%)
学生の雰囲気	**	(3.4%)
研究内容	**	(3.1%)
入試科目・出題傾向	**	(3.0%)
学費	*	(2.3%)
その他	*****	(9.4%)

Serendipity

「かえで祭」が終わり、クラスの雰囲気もだいぶ打ち解けたようですね。さまざまな人との交流をとおして、皆さん一人ひとりのネットワークを広げつつ、将来の進路や来年度の科目選択など、相談しやすい先生や上級生、同級生も見つかるといいですね。